

日本カリキュラム学会(JSCS)国際交流委員会  
第1回「国際的に発信する研究活動セミナー」

●趣旨

昨年度、日本カリキュラム学会（JSCS）の広報・若手育成委員会が実施したセミナー（2025年2月）「外国研究をどのように論文にするか」においては、外国研究を受信する観点から捉え、その検討が行われました。その議論を受けた統編として、2026年3月に企画する本「国際的に発信する研究活動セミナー」は、国際交流委員会としては初めての試みとなり、日本の研究成果を国際的に発信する研究活動のあり方を検討することを目的としています。

この問題意識は、JSCSとWorld Association of Lesson Studies（WALS）の連携が、WALS学長であるC. Lewis氏の寄稿論文を契機として一層深まってきた流れと重なっています。特にWALS国際大会（2025年11月）が広島で開催されたことは、日本のカリキュラム研究、授業研究、学校マネジメント研究等を国際的に発信する具体的な場となりました。さらに、教育関連学会連絡協議会（2025年3月）において示された「日本における教育学研究の国際化の現状と課題」は、各学会が主体的に国際発信に取り組む必要性を改めて浮き彫りにしています。

国際的な研究発信においては、研究課題の国際的ニーズ、先行研究との関係づけ、理論的枠組みや実証方法論の示し方、実践的価値など、複数の視点からの検討が求められます。本セミナーでは、WALSをはじめとするさまざまな場において国際的に研究発信を行ってきた研究者を登壇者として迎え、研究テーマの設定や国際的文脈への位置づけ、発信の実際の成果と課題等について話題提供をいただきます。

本セミナーを通して、JSCS国際交流の文脈のもと、研究者・実践者の皆様と共に、日本のカリキュラム研究をいかに国際的に発信していくのか、その方向性を検討するひとつの機会になればと考えています。

●日時：2026年3月7日（土）10:00～11:30（最大12:00）※9:45ごろから入室可

●形態：Zoomによるオンライン配信

●登壇者/敬称略（発表・Q&Aを含み各25-30分以内）

1. 川口広美（広島大学）「WALS広島大会の運営を振り返る（仮）」（広報・若手育成委員会）
2. 藤原由佳（広島大学）「国際学会に対応する研究方法・発表内容、その他の留意点など」
3. 当日司会 的場 正美（愛知文教大学）倉本 哲男（静岡文化芸術大学）  
(コーディネーター 国際交流委員会 倉本哲男)

●参加費： 無料（会員以外の方でもご参加いただけます。）

●参加申込：参加希望者は下記の URL から参加申込を行ってください。

<https://forms.gle/ewWZprtjC6Ha3vx2A>

3月6日（金）を参加申込締め切りとします。

※必要事項をご記入いただくと、次ページに Zoom 情報が提示されます。

当日まで保存願います。

●問い合わせ先： JSCS 国際交流委員会 倉本 哲男（[t-kura@suac.ac.jp](mailto:t-kura@suac.ac.jp)）